

珪藻分析

(1) 処理方法

分析試料

分析に供する試料は、およそ30 g 以上とする。処理量を多くすることにより含有量の少ない珪藻（化石）を濃縮し、統計処理上有意な数の珪藻（化石）を検出する。

分析処理

分析処理の手順は渡辺（1995）にしたがう（図に示す）。

また、1 ミクロン振動マイクロフィルタ - を使用することによって、粒径処理を確実にするとともに、処理過程の再現性を高めること。

(2) 顕微鏡による検定

珪藻プレパラ - トを光学顕微鏡（400 ~ 1000倍）で観察し、帯分析して通常100個から250個の珪藻化石の検定、計数を行なう。

(3) 解析方法

珪藻分析結果の解析手順は、概ね次の通りである。

1) 各珪藻分類群毎の出現率（パ - セント表示）計算と珪藻ダイアグラム、珪藻総合ダイアグラムの作成

2) 各地点における珪藻消長パタ - ンの読みとりと珪藻帯分帯

3) 堆積環境の復元

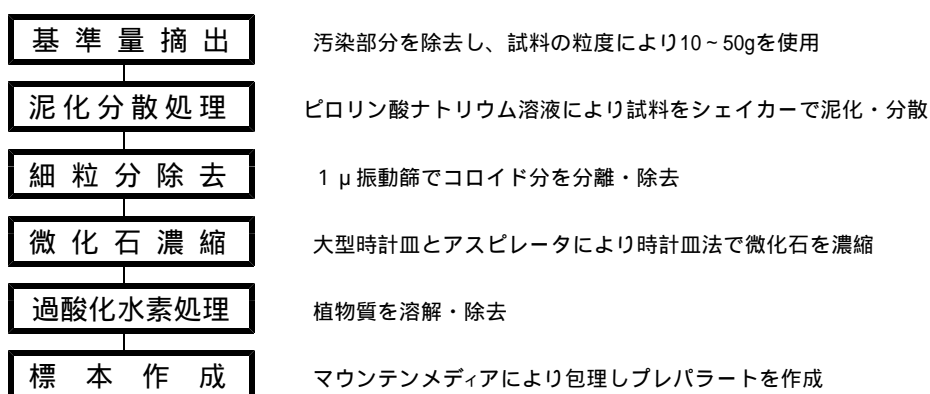


図 3- 2 珪藻分析処理フローチャート